



お
ば
な

尾花あきひと

県政
報告
第10号

編集・発行/埼玉県議会自由民主党議員団 尾花あきひと事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市 仲町1-5-7
TEL: 048(773)7033 FAX: 048(773)6287 E-mail: a-obana@obana-m.jp [県議会レポート]

埼玉県 令和7年度一般会計予算

【県議会議事堂】

約 **2兆2,308億9千万円** を議決・成立!!

県議会では前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算（2兆2,308億9,000万円）や年度末の補正予算をはじめ、各議案を慎重審査し議決しました。

埼玉県は、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は『未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦』

『「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現』『不断の行財政改革の推進』を基本方針に編成されました。

私たち自民党県議団の提案が反映された本予算案では、上尾市・鴻巣市・桶川市・北本市・伊奈町において住民の皆様のお声や市町議員各位との連携で取り組んだ各地域政策が予算化されています。また、県全体

の新規・拡充事業として、自然災害への備え(通信強靱化や治水対策等：約335億3,945万円)、警察力の強化(警察官175人増員等：約4億900万円)、介護・医療体制充実(人材確保等：約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが重点化されました。

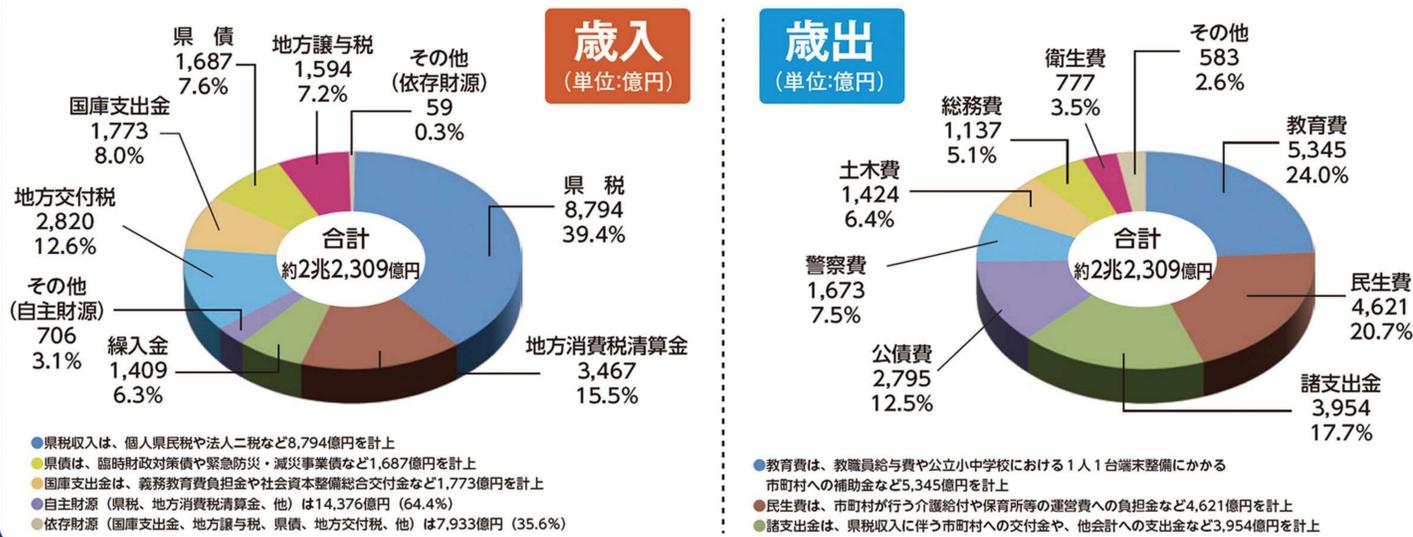
私が提案してきた「全国に先駆ける教育委員会と他部局が連携したいじめ防止対策体制」の研究事業も予算化されたほか、八潮市道路陥没事故の対応では、国と連携しながら90億円(50%は国費で措置)が計上されました。

新年度は、引き続き予算執行状況をチェックしつつ、地域の生活の現場で皆様のご意見を伺いながら、国・県・市町の連携強化と更なる政策実現に努めてまいります。

予算の概要



令和7年度一般会計当初予算



新たに委員会に配属されました
「警察危機管理防災 委員会」
「経済雇用対策 特別委員会」

県議団では「新年度の予算執行時の留意事項」として以下の付帯決議を付しました。

- 順天大附属病院撤退に伴い、医師確保対策のため、奨学金制度や医療機関への支援充実に努めること。
- 儲かる農業実現のため、農業技術研究センターの業務効率化と成果を発揮するソフト・ハード充実に努めること。
- 高校授業料無償化に対応し 県立学校の魅力向上等の検討。
- 県庁舎建替えはR7年度中に場所選定を行い、選定されなかった候補地の利活用を含めた議論を行うこと。
- 人材流出・不足がある保育士・幼稚園教諭・児童養護施設職員・介護士・看護師等に 更なる処遇改善を講じること。
- 障害児者等に歯科診療を行う県歯科医師会口腔保健センターの設備更新と運営費補助に関し、他施設との整合性や公平性を考慮すること。
- 教職員の駐車場負担について、勤務校による不公平が生じないように統一基準を検討し、公平性を確保すること。

都県格差と東京圏での埼玉のあり方

- ① 税源や保育士給与差は 近県連携で国へ改善要望を
- ② 日本や東京圏での埼玉の役割明確化を
- ③ 消費/人口/生産実態を反映した税配分要望を

企業が集中する東京都に、近年、通販の進展等で更に税収が集中し近県と差が拡大。各知事は「都の余剰財源を地方に分散すべき」と訴え、都と意見不一致が生じています。教育やこども政策、高齢福祉まで差が生じているため是正は必要なのですが、都対46道府県という対立になると国も動きにくく、逆に政治的配慮のみで効果の低い地方交付税制度になると、国全体で無駄を生む危険も生じます。

私は「都道府県は規模差により意見不一致が増える時代になる」と考え「人口分布的にみて今後の介護需要や通勤世代の子育て需要アップが予想される」埼玉・千葉・神奈川が連携し、少子化対策など国全体にとって効果が高い財源配分への改正を国に訴えるべきと述べました。

都道府県が形だけ意見一致を優先したり国の批判に終始している余裕はなく、国による国内数カ所への新産業エリア創出による人口分散に期待しつつも、東京周辺県としては都心から埼玉を含む東京圏域まで人口分散を進め、3県の住環境を強化することが日本全体の少子化に歯止めをかける可能性があることを述べました。

知事は「①～③議員と同じ危機感を共有している」旨述べられ、「①③ご提案の手法などあらゆる手段で訴えかける」「②県の次期5カ年計画に議員ご指摘の“東京圏での本県の役割や連携”を盛り込む」と答弁。

日本は今後、各地方に成長産業の拠点を作りつつも、現実的に国土の集住議論に逃げずに向き合わねばなりません。地方と国や地方同士の対立はマイナスしか生まないことを冷静に指摘する必要があり、都心と地方の中間にある埼玉の発信は鍵です。「日本に対し埼玉に何ができるか」の視点で、引き続き提案を重ねてまいります。

少子化対策 結婚/妊娠/出産/育児支援

- ① 有効な施策情報を提供し市町のサポートを
- ② プレコンセプションケアと検査・受診連携を
- ③ 婚活支援策～バーチャルとリアルとの連動企画
- ④ 不妊治療と育休取得に理解協力促進を

地方創生の10年は“出生率”を最上位の目標値に定めていましたが、昨今は「若者の流入で変動するため地域の出生実態が正確に反映できない」とされ、国は「個人の価値観も尊重し「結婚/妊娠/出産/子育ての個人支援の“結果”として出生率向上を目指す」と位置付けるなど背景が変化しています。一方で「人口減少は高齢化を伴い若年層の負担に繋がる」「若者の流入が進む首都圏での支援が少子化に歯止めをかける」ことも事実です。そこで「①長期的視点で有効な少子化対策を整理し市町現場と連携し助言すべき」と訴えました。私の不妊治療経験も述べ「②生殖に関するライフプランを学ぶ”プレコン講座”を若者を対象に開催すべき」「③デジタルとリアルでの婚活の場を連続開催すると成婚率が高いデータが出たため、事業等に活用しては」「④企業に対し不妊治療や育児の理解促進を」と提案し、県から「②20~30代を対象に開催する」「③民間連携や人材育成を図る」「④啓発イベントや知事が意義を訴える」と非常に前向きな答弁を得ました。

尾花あきひと

- 1983年 上尾生まれ (41歳)
- 明治大学 政治経済学部 卒 (元東京都副知事 青山伸ゼミ 都市政策専攻)
- 家族：妻 長女 次女 父母 弟 愛犬 愛猫2匹
- 略歴：映画TV製作会社勤務(共同テレビ等) 塗料/物件取扱会社 常務取締役(大和商事(株))
- 趣味特技：スキー/登山/書道/読書/映画
- 自民党 衆議院埼玉6区支部長/埼玉県連 青年部長
- 埼玉県議会議員(企画財政委員会 県土都市整備委員会 警察危機管理防災委員会 経済雇用対策特別委員会 教育現場におけるいじめ防止対策PT 事務局長)
- 元上尾市議会議員(2期)
- 明治大学代議員 埼玉中央青年会議所 常任理事 上尾商工会議所青年部 監事 伊奈町商工会青年部

若者の居場所と いじめ対策

- ① ユースセンター設置支援
- ② 校内カフェへの予算措置
- ③ いじめ防止対策チーム設置

不登校やひきこもりの方の増加をふまえ、若者が折々に立ち寄れる“ユースセンター”設置を求めた結果、県はバーチャル空間で若者相談を開始しましたが「実際に立ち寄れるリアルな施設」とのセット運用が望ましいため、「①市町村が設置する際、県が主体的に補助すべき」と指摘。知事は「①バーチャルで得たノウハウを活かし市町村を後押しする」と答弁。②放課後校内を活用した“居場所カフェ”は、運営費がNPOの持ち出しであり継続が困難な点を指摘。県は「②費用負担を考慮し継続可能なよう検討する」と回答しました。③いじめ防止対策では、教育委員会だけではなく部局連携による見逃し防止の必要性や、日本の調査が長年“発見数の記録に過ぎず対策に有効な科学的調査ではない”問題を指摘し「山間から都市まで多様な環境をもつ埼玉こそ、場所や時期といじめ発生の関係を全国にさきがけ調査し効果的対策を打てる」と提案。③県は部局横断的な研究チーム設置に動き出してくれ、全国に先駆けたいじめ対策が埼玉から動き出すこととなりました。

埼玉6区関係 国事業の視察



中野 国交大臣と共に荒川調節池整備現場を視察。流域治水を国・県・市の連携で進めます。

新大宮上尾道路 首都高延伸工事



首都高の延伸のほか上尾道路の圏央道への接続を進めます。

被災地訪問/ボランティア



能登と東北を訪問。支援の加速と復興行政の時代変化を、体感する場も。

街頭活動



市議各位と政策や国への見解をお訴え

政策形成



現場ヒアリング。保育士就労や放課後児童クラブ支援、防犯、就学支援等、こども若者事業は前年度比14.9%の拡大と効率化を達成。

福島第一原発 現地調査



エネルギー安全保障について国民的議論の必要性を発言

いじめ防止対策PT



事務局長として団「いじめ防止対策PT」を運営。国内有識者と連携し事例調査と政策を進める。データに基づく手法と教育現場の現状をふまえ、埼玉からいじめ問題の打開を図る。

台湾前総統に質疑



研修で、蔡英文 台湾 前総統を表敬訪問 「有事の際の 国と地方の連携体制」を質問

パラオ大統領就任式



「自由で開かれたインド太平洋」に向け連携が重要な太平洋のパラオ共和国。台湾との国交を維持するウイップス大統領再任にあたり県議連を代表し就任式に出席。都市間連携していきたい趣旨をお伝えした。